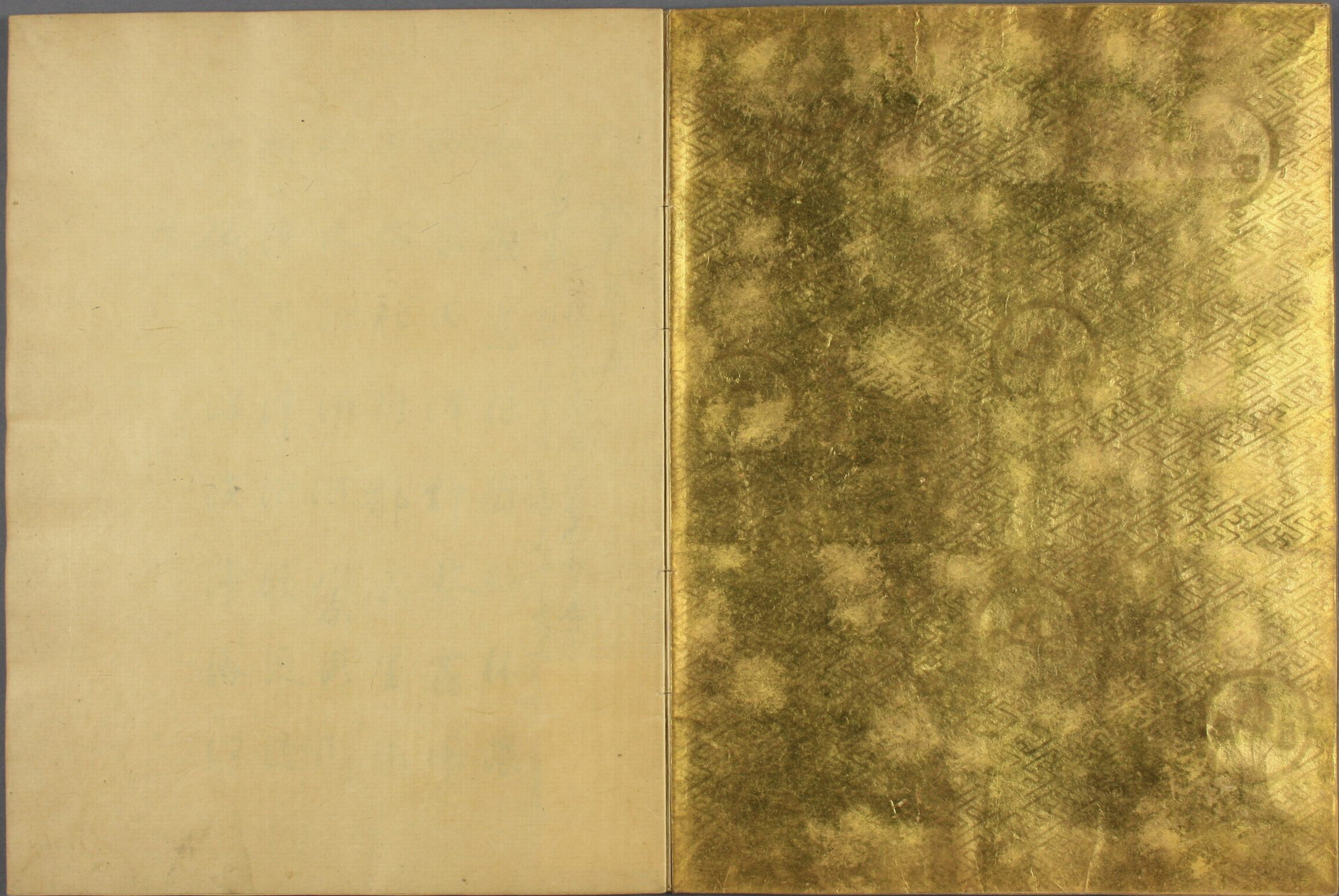




八雲抄巻第廿五









八雲抄卷第五

名不部

此名不部之字多矣。凡此名不部之字。皆以音同而字不同。故

新	鳴	瀬	井	市	改	山
寺	磯	溪	水	橋	系	嶺
	崎	谷	池	枯	回	嵩
	浮	津	沼	村	澤	根
	溪	泊	河	郡	野	岳
	浦	湊	川	文	牧	松
	海	渡	原	里	窟	林
	江	渡	洲	湯	用	隈





山

みず

山 磯 岩 下 あり 水 の し 郭 云

自中 古 或 加 其 字 花 魚 流 在 磯 岩 下 あり 水 の し

是 日 也

ま じ め 山

日 日 香 舞 麻 岩 葉 大 井 川 練 苑 例 亭 子 花 命 命 有 不 難

こ じ 山

松

日 ち ら ら け

ま じ め

日 白 け

自 ち ら け

こ じ 日 ち ら ら け

ま じ め

日 ち ら ら け

自 ち ら け

ふ ち の 日 一 目 代 不 替

ま じ め

日 春 葉 一

み じ ら 日 又 入 山

ま じ め

日 伴 經 有 存

う す り 大 和 雲 霧 日 麻 岩 葉

ま じ め

日 伴 經 有 存

日 ち ら ら け

ま じ め

日 伴 經 有 存

日 ち ら ら け

ま じ め

日 伴 經 有 存

み

日 伴 經 有 存



日新雲 花 紅葉 雪  
あつた 日新雲 花 紅葉 雪

日新記曰無草木と踏ならしきりなることいふ

日馬苑 郭云 ありのよき 又有東國後河

又右記作國より日山を真去しりきり若月山を

みさい 日 日並上山 日並上山

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日並上山 日並上山

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有

日新雲 花 紅葉 月 石橋有







あまの海 日なほくく 作降 ことのさ

くらの日まのれー 日なほくくのみえぬいり

あさり 尾張 虫作降國 又在津奥 日なほくく 遠又在上即えお葉 時血 落

まのばら 落 日なほくく

ゆーの 日なほくく 暮後難が捕るゆーのぬいしーお音にて食

お横ゆーのぬいしーお音にて食

志しし 日なほくく 日なほくく

わーり 日なほくく 遠後難が捕るゆーのぬいしーお音にて食

こしゆの 日なほくく

う海く 日なほくく 日なほくく

わさけ 日なほくく 市 遠後難が捕る

はこし 日なほくく

わか 日なほくく 遠後難が捕る

あふり 日なほくく

ひー日 日なほくく 小松 日なほくく

ここれ 日なほくく

なみん 日なほくく

おかり 日なほくく

あか 日なほくく

たさり 日なほくく



ふし 日或大和國とて 夏乃 名もいふ日すま

あつふのたよ あり 上野 日或上野信輔也

くろくろ 日或くろくろ 日或上野信輔也

みらのく 下野 日或みらのく 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也

あはら 日或あはら 日或上野信輔也



いこの 日あり海き 長梅 一ふらり

おかし 日母波ふらり 日おのひ日すやふい

妹いやくり かのひあふいしつらふのひいりり 秋寄

可為 志郎 川中ふらり お葉 雲松

なまき 日 ひんくふ 日あひし かしらの

たまてれ 日あひし 日おのひ 日 大梅 愛よる

わくの 日あひし 日おのひ 日 大梅 愛よる

ゆきの 日 日あひし 日 大梅 愛よる

ふれ 日麻 日あひし 日 大梅 愛よる

くみ 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

まほし 肥前 黒名云 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

ふらり 日あひし 日あひし 日 大梅 愛よる

石上し配



いり 後集 或山山山  
ありの 山山山 山山

このまれ 万五 山山山 山山山

され 万十 去日遊り 山山山 山八橋始古今道

ゆき 日右今 勝延持

うさ 日右今 志平 元音 山山山 山山山

くら 日右 奇撰 山山山 山山山

くら 日右 奇撰 山山山 山山山

あ 日右 奇撰 山山山 山山山

まの 日右 奇撰 山山山 山山山

まの 日右 奇撰 山山山 山山山

山あ わさ 日格 補抄 山山山 山山山

わさ 日格 有作 山山山 山山山

さ 日格 有作 山山山 山山山

まの 日格 有作 山山山 山山山

わさ 日格 有作 山山山 山山山

いさ 日格 有作 山山山 山山山

さ 日格 有作 山山山 山山山

さ 日格 有作 山山山 山山山

さ 日格 有作 山山山 山山山

さ 日格 有作 山山山 山山山



なう 山後撰 日新撰 師尹云

みよのあり 日拾 三時のとれ中山

ぬよれと 日拾 三時のとれ中山

いさく 日詞歌捕 日拾

志くれ 日千載 日長流 日質素

ぬみのと 日新 追原 日拾 法正娘

いさの山と我 いふもの 松吉の平 最の同情と中法捕抄止

ゆふくれ 日後拾 日新古 浮屠命

くす井 飛いありの界六位翁未成く山之 拾法宣 通信の國山を

まゝすて 信古の月 日新古 浮屠命

わさよれ 日古今 中た 山しなれ 日月 昔く

くさくさ 乃日 下野 後撰

わいけれ 浮後撰 日古今 真風

志のふ 日 浮屠命 日新古 眞風

汁がし 母波 千秋 日拾 法捕抄

たさ 石拾 長作 古今 在出羽月名前

さいの中 痛中 古今 後撰境まのつく、鐵とくく

いさく 日拾 眞風 日新 家治

なうたの 日千載 日新古 眞風

たうた 日千 日新古 眞風



あいらつ 徳 後 徳

いふの 但 後 撰

いそしれ 後 撰

いそしれ 後 撰 肥 後

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

いそや 徳

いそや 徳 後 撰

但 後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

後 撰

徳 後 撰



ふいふのいふ葉よ有く家紀四録

ゆめのいふ ゆめ山 大和 ゆめ山 大和 ゆめ山 大和

ゆめのいふ ゆめ山 大和 ゆめ山 大和 ゆめ山 大和

大和物語實平 浄座大内山時意補系

て録く只家内裏を延喜御時致申朝

位間事一於法皇御記曰延長七年英明

朝臣申系今御寺昨日御大内山系入

く時高御湯殿く同旅進奉作仍夜

又二則

志くの山 実土

ふいふのいふ葉よ有く家紀四録

ゆめ

山

あか寺のいふ 大和 わき物 日み

ゆめのいふ 大和 なるいふ 大和

ゆめのいふ 大和 なるいふ 大和

ゆめのいふ 大和 なるいふ 大和

ゆめのいふ 大和 なるいふ 大和

ゆめのいふ 大和 なるいふ 大和

ゆめのいふ 大和 なるいふ 大和



書

いゝのいゝ 大木ゆり 日新  
なふり 雲の 日新

ゆり 日新 わさ 信新 葉平

根

いゝのいゝ 大木ゆり

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

書

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新

いゝのいゝ 大木ゆり 雲の 日新



ふらふらの 万馬 けふは 万馬

ささげの 万馬 けふは 万馬 記作万馬

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

松

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

林

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

隈

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ

ささげの 拾元捕 りめ 山後拾 ぬ 日拾 法がゆ



返

くもれははらう 山可 近 自古今也 わふらう

ゆらし海はたふさ に可 すすひの 上節 可

わらうのえ ね可 すすみ 可 もはぬ

らうこれ 強弱 可

てこのふい 不調之 可 一ふまたのふい 可

京

あけこのつ 山城 可 あか 日可

たの原 日可 の 日可 の 日可

ゆの 日可 ね 日可 ゆれ 日可

くもれのい 日可 みまのい 日可

ま 日可 の 日可 の 日可 の 日可 の 日可

わ 日可 の 日可 の 日可 の 日可 の 日可

あ 日可 の 日可 の 日可 の 日可 の 日可

ま 日可 の 日可 の 日可 の 日可 の 日可

ら 日可 の 日可 の 日可 の 日可 の 日可

あ 日可 の 日可 の 日可 の 日可 の 日可

ら 日可 の 日可 の 日可 の 日可 の 日可

ま 日可 の 日可 の 日可 の 日可 の 日可



いさのみまろ 筑前 後撰 相換 大足一の

ふた志まろ 重く少くは 加 後成

りろろ 千畝回 記 作 大木之也

おなのゆ 金 孫 仲 貞 わきの松 橋 渡 果 之

こやこや 深 千 近 原 ぶさ野の

みやまの 日 心りの 哉

ああら 下 総 行 一 之 子 けの松泉

わくられ 万 ゆいの 山 万

よほりの 美 万 しか 後 万

わらわれ 近 有 万 むなの松 泉

こやの松 梅 こいの松 若 狭 けさの 山

回 わりのじりわいせ甲しり天照大木  
尚見のて面にも不換也

ゆいのゆい 山 万 大 木 入 之 也 ふうのゆい 日 万

わらぬき 大 万 小 万 一 万 之 回 也

わらぬき 作 勝 ぶたに 上 野 万

河の回 万 病 けさ 近 新 古 今 後成

こいの 山 朔 けら 記 作 万 けら 万 けら

けら 美 乃 けら 美 乃 けら 美 乃 けら 美 乃

けら 美 乃 けら 美 乃 けら 美 乃 けら 美 乃

譯



平らけ

波万が一のさうらげ ちうけのさうらげ

ゆき

あつて平のゆき 山後摺り

既宥注か

志ふゆきの

勢一可

澤ふか面あつてさうらげ 不見くゆき

ゆき同様ゆき

野 平野 大系野 山後摺り

ゆきの

山後摺り 有萩

ふたひ

日百みるりや 日百

あかあつて

いさひのゆき

日百さうらげ

ららら

ゆき

大系野 山後摺り 有萩

あつてゆき

こぼ

日百さうらげ

いさひ

日百さうらげ

ゆき

日百さうらげ

みし

日百さうらげ

あつてゆき

ゆき

日百さうらげ



わいのあが 日百萩 何月 拾ぬくつとむ

何れいなの 梅百丁 何れいなの 日百

くら 日百を野と ひら 近百あひひす

あ 日百 け 日百有世 や 百

い 日百 わ 日 後撰 記 百

い 橋百あひら い 記百

あ 日百君 う 日百 け 日百

くれ 日百 へ 日百 け 日百

それ 日百 け 日百

ひ 日百 い 日百

そのあ 信百 ぬ 上野百

さ 日百 む 日百 び 日百

わ 日百 め 日百

何 日百 ら 日百

あ 日百 志 日百

な 日百 あ 日百

あ 日百 あ 日百

り 日百 あ 日百

り 日百 あ 日百



いふれ 百 あつちの いふれ 百 あつちの

あや 百 あや 百 あや 百

はつり 百 はつり 百 はつり 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あさ 百 あさ 百 あさ 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

あつち 百 あつち 百 あつち 百

非名所大 可島 秋の

大古

日新

あつち

東回 千行

尾 羽橋

母は 全小

山後 是の 筑前 赤松

日 是 在 筑前 幼

事 吾 事 粒 可 島

記 一 の 一 海







但又野交奇合のあはし一程り  
わたくしぬ山の事や伴奇合字文  
うあゆ一のい制詞云何も一れしな  
あうらぬまやあらん有前一人そく  
那しとつりまを不審か

牧

三ののみまは 山後拾 相模 4月1日

三のりれ 塙 三のりれ 日

三ふられ 塙 くろい 甲

三のり 日 たの 日 かの 日

三のりい 山 三のりれ 甲  
三のりい 塙 三のりい 塙

麩

三のりい 塙 三のりい 日

三のりい 日

三のりい 日 三のりい 日 三のりい 日

三のりい 日 三のりい 日 三のりい 日

三のりい 日 三のりい 日 三のりい 日

三のりい 日 三のりい 日 三のりい 日

三のりい 日

三のりい 日



河うれ 相後

志うしれ

陸格 益威

らうらの日

清ん

波海道 平祐等

すまもの 橋与橋日友新古

れ 金 飛前 西道 孔捕

志いひの 東回詞 甲斐守

すうら

作珠

くらぬれ 日保母

くすんめ 東回書也

ぬいこえの 信が納云 子ね

もくろつもの 日又互天 曆傳記

波河也 ぶらぬれ 日

らうらの 義乃 実とらりし

いそこの 陸

いふじやの 葬じやの せい日若也

てまの 物書

異脱 へくらのむかへかみ笑

寝のよしやいしすいしり不用也い

とのやまこしきりなり 林用河

まの夜ののりや

市

あめのら 波 万わらうよわのゆい

あつれ 大 厚日 つし 日百ついらの みよの 日

あつめの 橋 千 俊成 けと乃 信が納云

あつめの 日 あすれ 大 家の

いそまの 大 みる乃 百

橋







いしづ海の たのめふ 細後雅之 廿七  
わさくれ か めみれ 梅 けいふれ 伊藤  
なごのつき 秋 ゆらくれ 伊藤

杜

いしづ海の 山百五 あかゆ 日 上 五  
いしづれ 日 百五 いしづれ 日 後  
いしづの 日 後 撰 いしづの 日 後 撰  
いしづれ 大 百 五 いしづれ 日 古  
いしづの 日 百五 いしづの 日 上 五  
いしづの 又 梅 屋 信 の いしづの 日 古  
いしづの 日 古 いしづの 梅 後 拾 赤 深

あのもれ 後拾 増基 梅周 わさくれ 近 後撰 友則  
あのも 日 後拾 云 資 いしづ海の 紀 伊 後拾 忠房  
なごの 日 百五 いしづの 義作 百  
あのも その ね いしづれ 伊 豆 拾 元 輔 いしづれ 真 鳥 心  
あのも 梅 いしづの 信 納 云  
いしづの 日 百五 いしづの 多 ね  
いしづの 作 賀 日 いしづの 日  
いしづの 近 千 堂 堂 いしづの 山 新 狭 衣  
いしづの 日 新 古 いしづの 古  
いしづの 大 隅 千 堀 川 いしづの 新 古 いしづの 定 家



あはれ 大 志のふれ 廣 千 陸房

あはれ 千 永範 流りてれ 山

あはれ 日 新古 兼成 月よのれ 伴 西行 外 文未結

あはれ 山 いそれ 日 こい乃

あはれ 大 てくれ 梅 せいの 道

あはれ 茂 けの 朝市 後村 文定

あはれ 伴 賢 ころよれ

村

あはれ 山 可 ゆつもの 伴 百川 上の 兼 山 可

あはれ 上 即 可 ぬるえれ 後 前 外 即 皇 后 有 石 云

あはれ 丹 波 新 古 兼 成 くまの 日 千 絶 魚

あはれ 日

都

あはれ 山 可 くよれ 大 可

あはれ 日 可 わらわら 日 可

あはれ 梅 可 けなまの 道 可 志 可

あはれ 可 三 可 ぬるえれ 大 可

久

あはれ 大 畝 檀 原 文 外 兼 成 葛 城 三 郎 日 海 清

あはれ 日 安 平 恒 曲 映 日 懿 德



振上池心 日孝照

黒田廬戸 日孝吳

春日平川 日因化

卷向珠城 日重仁

破香子元穗 近成務

磐余雅操 大中功

難波子津 孫仁德

遠明日香 大恭

泊瀬朝倉 日雄畧

近明日香八鈞 日弘宗

宝秋津波 日孝安

怪境系 日孝元

磯城瑞籬 日宗外

卷向日代 日景行

元戸豊浦 長仲長権右

輕嶋豊明 大藤外

丹比紫籬 何及正

石上元穗 日安康

盤余壠元栗 日信寧

石上廣子 日仁賢

泊瀬列城 日武烈

句金摺 日安岡

磯城嶋金刺 日欽明

盤余池邊刺櫛 用明

小壘田 日推古

明日香川原 日皇極重作

難波長柄豊崎 孫孝德

飛鳥渾御原 大天武

平城 日自春京遷

諸樂 日春京遷 元正

盤余玉穗 日継好

捨隈廬入野 日宣化

盤余許詔田 日敏達

倉摺 日宗俊

墨下 日藤多也 舒明

青板 日上

大津 天智長柄系

藤原 日持統文成 元明

平城 日自春京遷 元正

長安 桓吉 遷平安



甘樫 大 漢路

あまのこゝろのこゝろ 山 漢路 定方 ちよのれ 大 百橋の

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百 ちよのれ

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

里

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百

あまのこゝろ 日 百 あまのこゝろ 日 百



とうりしれ 日古 景行天皇降也

ゆららしれの 日古 三羽鳥の 日古

わらわしれ 日古 くらしれ 日古 ちてと

とわしれ 日古 ちよらの 長 ね撰 能因

見えしれ 日古 政可橋 一 ちよらの 陸 ね撰 ね撰

ちよらの 日古 新古橋為伴 ちよらの 拾

あからしれ 山拾 ちよらの 日古 陸 兼く里

わらわしれ 日古 直信が納言 ちよらの 拾 ちよりの

いさしれ 日古 ちよらの 日古 ちよりの 日古

とらしれ 大 ちよらの 大 拾 ちよりの

わさしれ 日古 ちよらの 日古 ちよらの 日古

ちよらの 日古 後拾 和泉 ちよらの 拾 新古

わさしれ 山 ちよらの 拾 ちよらの 拾

ちよらの 日古 直信が納言 ちよらの 拾 信をいして

ちよらの 日古 直信が納言 ちよらの 拾 備中 全 拾

ちよらの 日古 くらしれ 日古 ちよらの 拾

ちよらの 日古 山 ちよらの 拾 ちよらの 拾 ちよらの 拾

ちよらの 日古 ちよらの 拾 ちよらの 拾 ちよらの 拾

ちよらの 日古 ちよらの 拾 ちよらの 拾 ちよらの 拾

ちよらの 日古 ちよらの 拾 ちよらの 拾 ちよらの 拾

ちよらの 日古 ちよらの 拾 ちよらの 拾 ちよらの 拾



こぼりその山 ばいその日  
うい海の大 なるたれ尾 ぬまの井乃 甲  
なまゆり 下総 つまゆり 養  
あさゆり 隆 なるゆり 隆 なるゆり 隆  
たき井れ 隆 たまゆりの大 いたての 隆奥  
まゆらのまゆり いたてのまゆり 狭衣  
こぼりその山

温泉

河らりぬゆ 相五 なるゆりぬゆ 信お横河  
わりまゆりゆ 梅千 なるゆりぬゆ 信お横河  
ぬまゆりぬゆ 隆有 大和物 信お横河

いふのゆ 作有 山幸 なるゆ 拾遺 龍河  
なるゆりぬゆ 隆有 大和物 信お横河  
いぬゆりぬゆ 拾遺のえ

井

なまゆり 山幸 ゆつりゆりぬゆ 大五  
あゆり 梅 拾 井 龍 信お横河  
ゆり 紀 五 みるゆりゆり 上総 五 なるゆり  
ゆり 中 五 みるゆりゆり 上総 五 なるゆり  
ゆり 中 五 みるゆりゆり 上総 五 なるゆり  
ゆり 中 五 みるゆりゆり 上総 五 なるゆり  
あさゆり 後 なるゆり 後撰  
なまゆり 山 なるゆり 狭衣



らぬされ

ぬな

御中

金明丸

ぬり 義乃 澄澄寺

いし 湯島

山 ちま

なうれ山の

な 新古

日すま

千 妙文甲斐 群行路を

やまぬの

和泉

水

いし水

山 金明丸 湯島 山 八幡山 湯島 只いし水

よとのいし 日 ちま

あがれ

日 辰拾 大

あつんれ

指 可 ぬり 湯島 山 只いし水

いしぬ

山

道 天馬

のなうれ

橋 山 ぬり 湯島 山 只いし水

みうし

山 金明丸 湯島 山 八幡山 湯島 只いし水

山 金明丸 湯島 山 八幡山 湯島 只いし水

山 金明丸 湯島 山 八幡山 湯島 只いし水

山 金明丸 湯島 山 八幡山 湯島 只いし水

山 金明丸 湯島 山 八幡山 湯島 只いし水

池

なうれいし

山 後撰 兼書 中納言

あがれ

日 辰拾 大

いしぬ

日 辰拾 大

いしぬ

日 辰拾 大



ふかきもの 日万池のほみの ほみの 日万寺の

ふれ 日万 ふれ 日万

ますもの 日拾 ほりこの 日万実入

ふれ 日 梅拾 ふれ 日

ふれ 日仲実弁金葉 海の 日万すけの

あふ 日 この 道 ふれ 豊前

ふれ 下総 ふれ 又 日万

かりの石 日万

しもの 日拾 春 ふれ 梅 日万

あふ 日拾 川 ふれ 日万

ふれ 日万 ふれ 日万

ふれ 日万 ふれ 日万

ふれ 日万 ふれ 日万

ふれ 日万

奥池鳥池と云ふ津功皇者よみをもて  
ふれ 日万

拾

ふれ 日万 ふれ 日万

ふれ 日万 ふれ 日万

ふれ 日万 ふれ 日万



ふやう 日百可保家とせり河 河の  
陸古とふり  
つと河さの流

一詠高岸むらとせ波國と高岸河  
つと五日とふりつと五波札抄

あまのえの 河 千 信師 河の  
千 弘仲

あまのえの 武

河

あまのえの 山百保とと人船あまのえとせり  
あまのえの流とあまのえの流

あまのえの 日古今 魚師 西波印  
日野の流  
河平

あまのえの 日古 橋の流とあまのえの流  
鶴川 志高奇

あまのえの 日古 志高 志高奇  
日古あまのえの流  
志高奇

普通事とせりつとせ不集入  
在世継お横河

あまのえの 日古 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

あまのえの 日古 志高奇 志高奇

志高奇とせりつとせ不集入  
志高奇とせりつとせ不集入



れ 日可みいあぬ わあ 日可まあぬ

おまの 日可まあぬす川く 毎よまあす川く 日可

ひのや 日可まあす川く 日可柳

のまやれ 河内可のまや川く 日可まあぬす川く 日可

いのくま 日可まあぬす川く 日可

あまのれ 日可まあぬす川く 日可 善目野也

あけ 河内 拾躬恒 日可 日可

料な 日可まあぬす川く 日可 日可

あし 日可まあぬす川く 日可 日可

やま 日可まあぬす川く 日可 日可

ま 日可まあぬす川く 日可 日可

いま 日可まあぬす川く 日可 日可

いすみ 日可まあぬす川く 日可 日可

ぬしあ 日可まあぬす川く 日可 日可

あやの 日可まあぬす川く 日可 日可

らくま 日可まあぬす川く 日可 日可

あし 日可まあぬす川く 日可 日可

あし 日可まあぬす川く 日可 日可

あし 日可まあぬす川く 日可 日可

日可まあぬす川く

日可

日可柳

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可

日可



こころ 日可わいしん  
はらわいしん  
いさむ 日可

みあのもや 相可うまの  
こ縁 上野 可

わし 下野 可  
厚 奥國を

く 常 可  
はし 日  
いせ 日可  
志系

ふふれ 日 後撰はらわいしんの  
早川あり

わふらま 陸 古あつまの  
なごり 日 古志系

あいつ 日 志 陸 一 海も 日 拾

わし 志 可  
後撰 可 厚  
あ 日 後撰  
あ

あつたをいそり  
信補抄あり  
あつた 日 拾

あつた 日 後撰  
肥系 可 厚  
志系 可 厚

あつた 日 可  
あつた

あつた 後撰 女 志系 可  
あつた 可 厚

あつた 相 可  
あつた 可 厚

あつた 可 厚  
あつた 可 厚

あつた 可 厚  
あつた 後撰 可 厚

あつた 可 厚  
あつた 可 厚

あつた 山 志系 可  
あつた 信

あつた 日  
あつた 日

あつた 日  
あつた 可 厚

あつた 可 厚  
あつた 可 厚

あつた 可 厚  
あつた 可 厚







崇神天皇群兵波川の中よりしてある  
つとむふゆのやうていんすうを負共役よ  
康すう所のふて

河原

あまのこやれうら 山万みさの 日 後撰  
仲江の大万ひま 柳 千鳥  
りーれ 日 万貫人 日 後拾 好忠  
あまの 河原古 下 総 万りかまのうら  
河原 下 野 万 石 万りうら  
たりの 日 万まこり 日 万ますけい  
千鳥

瀬

あまのこやれ 山古 後撰 中務  
りーれ 大万あかこりうのこりうら  
あまの 日 万 紀拾 元補  
あまの 日 那智 万のこりうの  
あまの 大 万 紀拾 元補  
あまの 山古 万りかまのうら  
あまの 紀新古 万 山 大井川也  
あまの 日 仁和寺 万 有 大  
あまの 万 肥前



いもやれぬれ

劇

みなりひねら 大五

なりうその

信が細云

うしこ日 あしらわれ 日

くれ 日

ふ日

瀬

やまあきのや 山五 宇治川へ

ゆり河の大 浦也

となくや 山 大井也

溪

くらあふ 山 五のへ 五浦也

志ふ

強中

なり 山 ゆらたなよ 是六梅の親と実達と云いなり

花

とみよりぬき

物五 杉原 青あり

あかえれ 日後 良羅高雲井と云いなり

あつこの大 みじわれ 日拾 みじわれ

いしづき 紀五

津

あかこのもの 物五 五の なるふと 日五

あつは 日五 存身 えなり 日五 ともあり也

あつ 世五 あつあり 日五 志ふの



志乃の 日百 志乃の 日百  
志乃の 日百 志乃の 日百  
志乃の 日百 志乃の 日百  
志乃の 日百 志乃の 日百  
志乃の 日百 志乃の 日百

泊

うしろのこころと 痛 古今 安倍清行 何と

わしとよつと 舞前 万々 海りの

のこえ 日百 並上 志乃

湊

やまのみふと 進 百 橋有 ありはよまらうとて  
此の剛屋のみふとの有うと但そ其の

いよらう 志乃の 日百

志乃の 日百 志乃の 日百

ゆらの 長方 志乃の 日百 千澄信

渡

むらぬえと 大みうとれ 志乃の 日百

わしとよつと 志乃の 日百 大みうとれの也

志乃の 日百

渡

志乃の 日百 志乃の 日百

志乃の 日百 志乃の 日百

志乃の 日百 志乃の 日百















みまのほき大百

んとのの 日百萩

あふれ近可

あふれ

仔細可

あてれ 百首後

野崎

近可あつちのこもさや  
一説有漢語とて但百葉

あつちのこもさや  
さつちのこもさや

ゆらぬ

紀百ゆらの  
ゆらぬ

あし日百近

あし日百近

漢可

あふぬの

物半

あふぬのほれあり

あふぬの 日百

あふぬ

日百あふぬのほれあり

あふぬの 冬川百

あふぬの

あふぬのほれあり

あふぬの 日百あふぬのほれあり

あふぬの 日百

あふぬの

常百結  
あふぬの

あふぬの

飛前百あふぬのほれあり

あふぬの

日百あふぬのほれあり

あふぬの 日結 拾

あふぬの

後集百あふぬのほれあり

あふぬの

近可あふぬのほれあり

あふぬの

河内百あふぬのほれあり

あふぬの

仔細 結補抄  
と河のさうり松

あふぬの

漢

あふぬの

漢古

あふぬの

あふぬのほれあり

あふぬの

あふぬの

あふぬの

日百

あふぬの

あふぬの

あふぬの

漢可

あふぬの

拾 結宣旨

あふぬの

漢

あふぬの

あふぬの

紀

あふぬの

物雲 けしけしあふぬのほれあり  
あふぬのほれあり 日百紀



厚

あふしうの 栞 万 高のの ありすう 栞 万

あゆ 日 後撰 ありす ありす 紀 万 痛

くろく 日 万 高のの 栞 とくろく のの

うさうさ 上 栞 万 ありすう ぬゆい 敬 前 万

まひ 敬 前 ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり 万 ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり 栞 ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり 千 ありす ありす ありす ありす ありす 相

あゆり 肥 前 ありす ありす ありす ありす ありす 万

濱

あゆり 栞 万 ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり 日 万 ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり 日 万 ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり 日 栞 ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり 存 栞 ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり ありす ありす ありす ありす ありす 万

あゆり ありす ありす ありす ありす ありす 万















あしれ わりりの 敬平 しの 全 札隠

いらしの 伴勝 俊成 守新

はしりの 梅万 ともれ ちの 彦

しひの 去来 わしの 續 万

らぬれ 紀万 わらぬらぬら ちの 漢 万

あしりの 万 ちの 後前 万 しの 石 万 浦 万

ちの 万 ちの 万 ちの 万 ちの 万

あしりの 万 ちの 万 ちの 万 ちの 万

あしりの 万 ちの 万 ちの 万 ちの 万

あしりの 万 ちの 万 ちの 万 ちの 万

あしりの 常陸 万

海

あしりの 海 千鳥 ちの 日 ちの 万 海 彦成

あしりの 日 己上 海 ちの 日 ちの 万

あしりの 梅 万 ちの 万 ちの 万 ちの 万

あしりの 日 万 彦松

あしりの 日 万 ちの 万 ちの 万

あしりの 万 彦 ちの 万 ちの 万

あしりの 万 ちの 万 ちの 万 ちの 万

あしりの 万 ちの 万 ちの 万 ちの 万



わかれ 長可 ありの 一か ともいふ 後 可くしよつら

のくれ 能可 ともいふ 日可あり くれ 敬年 可

ゆきの 日可 水可 なるの 日可て海の中へまうと結いぬの

ありとの 日可 凡如海海とりまうとつら

あふれ 出可 可くつらの午可 乃 仔細 可

うさり 可 大可 なるの 日可 なる

まはれ 肥前 可 なるの 可

よりの 母は 可 ありの くれ 海にぬる

たよふれ ともいふ 可 千 敬年

なるの 可 千 真実 心らの 常 海に奇

いづの 石可 なるの 可

すくれ 信水 海 水 上 海 くれ くの

これ ありの 是れ 雖は海と云ふ可はぬと云ふの

わづらひ ありの ありの ありの ありの

わづらひ 可 隆興 國 海 也

に

ともいふ 可 松 藤 齋 是別 可 延喜 萬 令

なふし 日 惠 慶 可 元 良 可

なふし 日 可 ありの ありの ありの

はくは 日 良 遣 可 師 ありの ありの 日 結 成 寺



志華 丹後 後者れき浦嶋うさる心後者

はりのがら 橋可 此ののりて 能可志まゆい

いふさあせ 遠可ふかー ちんりののがら 後

なごの 有 舞一 入さるや 金は性寺まこと

まのの入 下総可 有 まのの入 道 金後札

くさり 舞前可 毛のの入 可あちのま心 松

あかくれりり 山可宇治河へかそ 信輔在美乃二為 但ひこのあそけの

鋼丸 相換 子のゆり 作珠 金 師札

たのの入 舞のい 舞前 舞前圓さつりりのあまえの

みよえのなまのいり前之但日抄は非に玉枝とつり又 日而し舞あま有いりり河さりある若前ふと玉枝とお恋

さう可あや但可のみまのえのなまえのいしなまいよ  
あつこいり枝あつこいりあつこいりのいし玉えとつりれい  
結 共いりりまの結ふとつりしり  
結 非にまのあつこいり又其前どのいしまの

りのの金 舞山古 後者の 再

ゆりれやまのり 大まのの みまれ 大枝のまろー

ありののあまのりや いかまれ 美の つまのあ 信

し井のえ 舞前 一のりやすいしりり

あすれ 舞前 いまのえ 作珠

いらいのえ 日 月まのれえ 日 くのえ 舞

八橋のえ 山 賀倉宮 日 松尾のえ 日

平野宮 稻荷え 日 去日え 大



小堀宮山 日吉の宮世 石巻の宮日  
水戸の宮山 芳村の宮尾 出雲の宮出雲  
立田の宮大 康徳宮常陸 美濃野の宮紀

寺

何橋の寺山 可保

いづれの寺山 くららの

なうの寺山 五井



